



地域協働学校運営協議会だより

第3回（6月15日）運営協議会会議の概要です。

■日時 令和元年6月15日（土）12時25分～14時25分

■場所 戸塚第三小学校 会議室

■議事

1 セーフティ教室意見交換会

<ゲストティーチャーより>

○KDDI様

- 「インターネットのルールとマナー」3・4年生、5年生
- ・授業では、動画を3本視聴。学年に合わせた言葉で解説。
 - ・インターネットは文字のコミュニケーションなので相手が見えない。そのため、簡単にいじめ、仲間はずれなどにつながる。
 - ・インターネットの中で知り合い、なりすましにより、知らない人に脅されるなどの被害が起こる。早く相談窓口に伝える勇気が大切。
 - ・ゲーム依存（自分でコントロールできない）については、「はい・いいえ」で答える簡単なアンケートで、自分の傾向が見える。

副校長：授業の様子は、皆真剣に聞いていた。SNSの利用者が低年齢化してきている。今月の「ふれあい月間」アンケートでネットでのいじめについてたずねる項目がある。

委員：フィルタリングの掛かり具合がそれぞれ違う。保護者向け内容の講習などはどうか。

KDDI：保護者向けのプログラムもある。楽しく使うために大事なことは、「自分で考えて親と一緒にルールを決める」「約束を守る」である。このためには声を掛けられる大人が身近にいる関係が大切。

○戸塚警察署 スクールサポーター様

- 「いかのおすしをまもろう」1年生、2年生
- ・授業では動画「いかのおすし」の視聴と連れ去られそうになった時の対応の体験。
 - ・自分一人の時に腕や体をつかまれたらどうするかを体験。気が付いた周りの人が声を出すことも大切。
 - ・今後は先生方へ、さすまた、対応の仕方などの練習を行っていきたい。
 - ・心配なこと、何かあったらとにかく110番。ふだんから気になることは伝えてほしい。

○学校薬剤師（保護司）様

「薬物乱用防止教室」6年生

- ・授業では青少年用のパンフレットを使用した。それは小学校が、全員に伝えられる最後のチャンスかもしれないと思うから。
- ・依存性（薬物、ゲーム）は病気なので専門家の関わりが必要。相談先としては警察、麻薬取締機関でも良い。なぜなら逮捕するより防ぎたいので相談にのってくれる。
- ・薬物を使用しないように、家庭で引き止めることが大切。たばこが入り口（煙を吸うことができる＝ゲートドラッグ）である。飲酒は家庭から始まることが多い。飲酒は規範意識が低下する。
- ・低年齢ほど心身に害を受けやすく、長引く。
- ・日本は先進国の中で大麻使用経験率が断トツに低い、これを守っていききたい。
- ・大麻、アルカロイド系の薬効を研究はしている。
- ・親子の信頼関係を崩さないことが大切。家庭の居心地が悪い、関心を引きたいなどの気持ちからアウトローになる。「伝えたい、頼りたい。」という子供の気持ちを小学生時代なら聞いているふりでもよいので耳を傾ける（最後のセンテンスを口に出して言う+あいづち）ことで満たすことができる。
- ・必ずSOSを出している。後からでは遅い。いろいろな相談機関に伝えていく。自分の親は頼りになると思われるようにしてほしい。「居場所が」が大切！

2 代表挨拶

1・2年「いかのおすし」、3・4年「情報モラル」を見学した。わかりやすい授業だったと思う。自分の子供の頃に比べて時代が変わったという感じがする。

3 校長より

- ・雨の中お越しいただきありがとうございます。
- ・本日の学校説明会は、保護者28名、未就学児12名の参加者で、比較的多かったのではないかと思います。

- ・5月25日は、運動会のご参観をありがとうございました。テントをお借りした東京富士大学、第一児童館に大変感謝している。
- ・6月3～5日の6年生の日光移動教室は天候に恵まれ、けが・事故なく全てのプログラムを終了できた。
- ・本日から3日間の学校公開でも児童を認めて、励ましていただきたい。

4 令和元年度前期学校評価項目について

(教務主任より)

○学校公開に向け準備をしてきたが、行き届かないところがあれば教えていただきたい。

○昨年度の課題について

- ・挨拶が本校の課題である。
- ・分かりやすい授業のために教員が努力していく。「戸三小スタンダード」を踏まえて若い先生を育てていく。
- ・タブレットを学校では使っているが、保護者に伝わっていない。
- ・インターネット、スマホ「SNS東京ルール」⇒「学校ルール」⇒「家庭ルール」を実態に合わせて毎年更新していく。そのことを保護者に伝えていく。

5 支援部の活動について

<学習支援部>

- ・「夏休みわくわくスクール」へのご協力をよろしくお願いしたい。
- ・総合的な学習の時間に地域の人材(囲碁、将棋、昔遊び、染物など)をお願いすることがあるかもしれない。ご協力をお願いしたい。

<安心安全支援部>

- ・「子ども見守り隊」プレートの配布者名簿を作成している。6月27日の「子どもを守る学校と地域の会」において、配布者と配布方法について話題にする予定。

<環境美化支援部>

- ・エココーナー掲示板を主事室前に作った。学校、地域の皆さんでSDGsに向けて行動していきたい。

その他

副校長より

○運動会実施報告 主な感想

(「アンケートより」資料参照)

- ・低学年：小学校で初めての運動会で、保育園などに比べグレードアップした内容で、成長を実感。ダンスがかわいらしい。走り方教室の効果を感じた。
- ・中学年：勝ち負けを体験する貴重な場。手話ダンスを取り入れたことへの好評価。

- ・高学年：騎馬戦復活への反応は、思っていたよりは少なめ。高学年らしい御神楽と南中ソーラン、係活動への好評価。
- ・全体：応援団の迫力、暑さ対策への好評価。今後の時間短縮など検討は必要。

○学校公開へのご意見・ご感想

委員：5年生「インターネットのルールとマナー」を参観した。家庭においてSNS利用時間を決めるなど、親の関わりが大切だと感じた。

委員：「SNSルール」作成の流れについて教えてほしい。

教務：「SNS東京ルール」は5項目(1日の利用時間と終了時刻を決める/自宅でスマホを使わない日をつくる/必ずフィルタリングを付ける/個人情報を書き込まないようにする/送信前に読み返す)。「SNS戸三小ルール」は4項目(利用時間や利用場所を決める/フィルタリング付けて利用する/個人情報を出さない/相手の気持ちを考えてメールをする)。実際に、おもちゃ感覚、遊び感覚からトラブルの加害者や被害者になった児童の対応をした経験がある。技術の進歩を考え、低学年でも実施していく。

委員：学校からのルールを受けて、各家庭での具体的なルールを作っていくというもの。

委員：実際のいろいろなケースを具体的に考えさせていくような取り組みをしてほしい。

委員：文字の取り違いを考えさせるのはどうか。実際に、表情を見て口で話すのとは違う。

委員：今日のセーフティ教室で、参観中の保護者の中に、自分のスマホに夢中な人が見られた。

委員：子供同士のやり取りの中で、周りの子供が中傷などに気付き、保護者から相談されたらどのような対応が必要か。

副校長：学校に伝えてほしい。担任時代に、保護者に協力してもらい、使用を中断させた経験がある。

委員：早稲田通り4丁目のバス停近くの横断歩道で、朝の登校時、人数が多いと渡りきれないことがある。何か対応できないか。

委員：以前に比べ早稲田通りの交通量は減っていると思う。

校長：学校で検討する。

教育指導員より

1・2年生のセーフティ教室に参加した。このような機会に話された内容を、ほかの保護者、地域の方に伝えていってほしい。